



No.38 2014.1

発行/
奈良芸術短期大学
〒634-0063
奈良県橿原市久米町222
TEL 0744-27-0625
http://www.naragei.ac.jp

CONTENTS

- 1 あなたに Click!!
News
- 2 Prize Gallery
- 3 Festival News
- 4 卒業生メッセージ
Topics

あなたに Click!!

柴山敬子さん

—デザインコース (コミュニケーションデザインクラス) 2回生—

『つたえるデザイン』を意識して 取り組んでいます



きっかけ

高校は普通科で美術系ではなかったのですが、祖父と母がデザインの仕事をしていたので、美術には興味がありました。高校の文化祭ポスターなんかを描いたりもしていました。美術部員でもなかったんですけど、『つくる』『描く』は大好きでした。

たまたま父母の友人に奈良芸卒業生のデザイナーさんがいて「デザインを学ぶんだったら、奈良芸は絶対いいよ。基礎からしっかりやってくれるし、少人数制だから丁寧に教えてもらえる」って進学を勧めてくれました。家族の後押しもあって奈良芸入学を決めました。

課題に追われ、鍛えられています

1回生の最初の頃は、ハンドワークの授業が多かったですね。線と面のトレーニングとか色彩とか。最初はこれでデザインの勉強になるのかと思いましたが、だんだんデジタルワークになってきて手描きの重要性がわかってきました。2回生になって、デザインの現場の仕事に近くコミュニケーションデザインクラス>に入りました。企画や構想、人とのコミュニケーション力を学びたいと思ったからです。授業は次から次と課題が出されるのでもう必死でした。ほんとうに目にクマができるほど頑張ったんですよ(笑)。一番しんどかったのはWebデザイン実習です。奈良芸のホームページをグループでつくるという課題で、企画からWebサイト構築までやっていくんですが、皆の案をまとめるのが大変でした。グループワークでは、コミュニケーション力が大切ですよ。

卒業制作は『チロルチョコ』のデザイン。外国人のためのお土産バージョンです。取材や資料集めをするために関西国際空港やお土産店にも足を運びました。先生



からは今までなかった斬新なモノ、それでいてリアリティのあるモノをつくりなさいとアドバイスをいただきました。

制作する上で心がけているのは、第三者の眼で見るということです。自分を客観視するのがなかなか難しいのですが、自己満足にならないよう“つたえるデザイン”を意識しています。

将来は?

もちろんデザイナーを目指しています。奈良芸で学んで鍛えられましたから、責任感があること、打たれ強いこと、チームワーク力があることなどを自分の強みとして就職活動をしました。おかげでデザイナーとして内定を得ました。ここで習得したデザインの知識を生かして仕事に取り組んでいく予定です。

(大阪府出身)



FELISSIMOお届けBOXデザインコンテスト
入賞「カワイイをぎゅっとをぎゅっと」

News

■海外美術研修旅行—スペイン、フランス—

2013年8月26日～9月2日 スペイン・バルセロナ、フランス・パリを巡りました。初日26日、関空出発後ロシア上空で機内に急病人が出て日本に戻るというアクシデントが発生、半日の日程がつぶれたのですが、滞在先の時間を少しずつ早めてほぼ予定通りに訪問することができました。学生たちはフランス、スペインで異文化の芸術に触れ、貴重な体験は心の財産になったことでしょう。

参加した日本画コース1回生の中道桃子さんは「一番印象的だったのは、ルーブル美術館です。ダ・ヴィンチやミケランジェロの有名な作品が簡単なロープの柵のみで展示しており、すぐ目の前で鑑賞できました。絵筆のタッチもわかる距離なので感動でした。また



日本画コース中道桃子さん

モネの家では日本の浮世絵がたくさんあって、日本の影響ってすごいなあとか誇らしく嬉しく思いました。

ヨーロッパの街並みはどれも絵になるほど美しく、古いモノを残すことが大切にされています。でも日本では古いモノ、伝統的なモノは継承者が少な

く廃れているのが現状です。日本も古いモノを残さないといけなく強く感じました。そして改めて日本の伝統技法で描く日本画をしっかり学ぼうと思いました。

初めての海外でしたが、ヨーロッパは治安が悪くてどこへ行っても安心できない怖さがあります。日本ではあたりまえの安全やサービスが無くて戸惑ったこともたくさんあり、日本に住んでいて良かったと日本を再認識しました」と感想を寄せてくれました。



Prize

京都市美術館開館80周年記念展「2013京展」

入選 浅野泰大さん(専攻科2回生/染織)
〃 林 亜希菜さん(専攻科2回生/染織)



京都市美術館開館80周年記念展2013京展入選
林亜希菜さん「万華鏡から飛び立つ蝶」

第59回全関西美術展

入選 浅野泰大さん(専攻科2回生/染織)

第10回小磯良平大賞展

准入選 赤井正人さん(洋画03卒)

2014年賀状デザインコンペ

最優秀賞 花岡睦絵さん(専攻科1回生/デザイン)
佳作 〃

第40回創画展2013(秋季)

奨励賞 鳥居結人さん(日本画10卒)
入選 花本鈴子さん(日本画12卒)
〃 田中彩乃さん(日本画12卒)
〃 森中 歩さん(日本画13卒)
〃 芳野智恵さん(専攻科2回生/日本画)



第40回創画展2013(秋季)奨励賞
鳥居結人さん「不在V」

第45回日展

入選 沢田一葉さん(陶芸83卒)
〃 喜多浩介さん(陶芸87卒)
〃 白川奈央子さん(日本画12卒)



第45回日展 入選
沢田一葉さん「音を包む」

ねりんピックよさこい高知2013美術展

銅賞 永井由美子さん(専攻科2回生/日本画)

2013奈良県展

県展賞 上村ひとみさん(陶芸13卒)
審査員奨励賞 西 彩香さん(専攻科2回生/陶芸)
入選 孤杉厚美さん(日本画07卒)
〃 山本 光さん(専攻科2回生/陶芸)



2013奈良県展 県展賞
上村ひとみさん「白い兆」

第10回公募ステンドグラス美術展

入選 濱田恵莉果さん(クラフト08卒)

第57回橿原市展2013

努力賞 吉井卓也さん(洋画10卒)

第47回女流陶芸公募展

入選 月原真麻美さん(陶芸09卒)

第65回沖展

准会員賞 宮城守男さん(染織00卒)

Gallery

■つらつら展

(日本画卒業生と研究生のグループ展)
7/24~28 京都 ArtSpase MEISEI



■染織コース専攻科展

8/27~9/1 大阪 東心斎橋画廊 MU



■原展

(日本画卒業生のグループ展)
9/10~15 京都 ギャラリー恵風



■クラフトデザインコース専攻科展

9/24~29 大阪府立江之子文化芸術創造センター



■陶芸コース進級制作展

10/1~16 聖心会館ギャラリー



■日本画コース答志島スケッチ展

11/5~8 聖心会館ギャラリー



Festival

■紫苑祭2013

“BAKEMON ART FESTIVAL”

ハロウィンをモチーフに、学生たちが奇抜なファッション、メイクで来場者を楽しませてくれました。

10月26日前夜祭から始まり27～28日に開催、男装女装コンテストやライブ、カラオケ、模擬店、フリーマーケット、キャンプファイヤーなど、たくさんの企画で今年も盛り上がりました。毎年好評のクラフトショップ・陶器市、染織ショップを目当てに来場する人も多く活況で、また学生作品展や教授展もあり熱くて楽しい3日間でした。感動のフィナーレは今年も花火で締めくくりました。

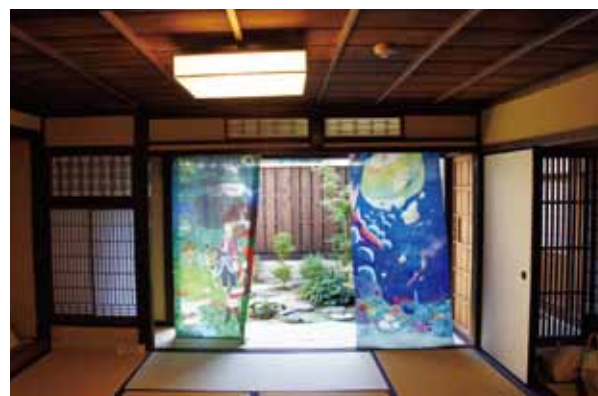


3

News

■奈良・町家の芸術祭「HANARART(はならあと)」に参加

奈良の古い町並みの魅力を全国に発信しようとアートイベント「奈良・町家の芸術HANARART(はならあと)」が橿原市八木町・今井町、奈良市きたまちなど県内8地域で9月7日から11月26日まで開催されました。本学も橿原市八木町札の辻交流館で9月21日～29日まで作品を展示しました。



卒業生メッセージ

三畦英明さん ーデザインコース2000年卒ー 描く、つくるよりプロデュースをしよう！



今の仕事について

2012年8月に「スケロク」という雑貨店をオープンしました。カワイイモノってどこでも売ってるけど、ファンキーで面白いモノって扱っているお店があまり無いじゃないですか。そこに目をつけたんです。素っ裸で前をタオルで隠す“風呂上りのジーさん”、ソーセージの形をした紳士“魚肉さん”、“鼻からボォーン”と鎖が出ているちょっと気味悪いキャラクター、枕のカタチの“マクランコちゃん”、脱力感いっぱいイラスト・・・どれもエキセントリックで個性豊かな作品たちです。店舗は奈良県桜井市にあります。「何であんな所に店を出したの?」とよく言われるのですが、あのローカル感が好きですね。にぎわった地域より「面白いモノを売っている店がこんな所にあるよ」と思われたいんですよ。普通の人と逆のことをするのが好きなんです(笑)。もちろんNetShopでも販売していますが、買っていたく人の反応がわかる店舗販売の方が楽しいです。一番嬉しいのは、再び足を運んで店を覗いてくれる

ことです。ウチの商品にハマってくれたんだと実感します。

2013年12月に高島屋大阪店から期間限定ショップのオフアがあってデパートに初めて店を出しました。高島屋の僱事担当の方が、面白いモノを売っているとネットで注目してくれたみたいです。「スケロク」ファンが広がってとても喜んでます。

学生時代、そして卒業してから

奈良芸って「自由だった」という印象が強いです。すごい学生生活を楽しんでいましたね。デザインコースだったけど谷口先生に怒られた思い出とかもあるしね(笑)。美術系に進んだ自分を、銀行員の父に反対され続け模索し葛藤していた時期もありました。父は堅い仕事をさせたかったんですね。奈良芸卒業後は更に父に反抗し、お笑い系にあこがれて吉本NSCに入りました。でも結局売れなくて、お笑いでもアートでもない全く別の業界で仕事をしていました。ただ、そんな仕事に就きながらもずっとアートに係わる仕事をしたいと思っていました。

で、やっと2012年に決心したんです。しばらくアートと離れていたのでも「自分で描く・つくる」んじゃないかとプロデュースする仕事をやってみよう。各地のアートイベントに行くとユニークな作家さんを探したり、サ



イトで自分の感覚にあうユニークな雑貨を探しました。もちろん、作家さんの中には奈良芸出身者もいますよ。作品はどれも手づくりで、愛らしくて見ているとほんわかと温かい気持ちになります。

将来は?

お客さんが手にとって「面白い」と喜んでもらえる、「これどこで使うねん!でも欲しい!」そんな作品やグッズをもっと送り出していきたいです。そして将来はプロレス団体のスポンサーになればいいなと思っています。というのは非現実的な目標で、実際は奈良芸出身の作家さんが増えるといいなと思っています。現実的でない、空気の読めない後輩がたくさん出てきて欲しいと思っています(笑)。

(奈良県出身)



大阪市内デパートで
期間限定ショップ



桜井市にある「スケロク」

Topics

■夏期公開講座

地域文化の活性化を図る目的で、地域の皆様に美術講座を開催しています。7月20、21日は一般対象、7月26日は教員対象、8月19日は美術教員対象、と対象者別に夏期公開講座を開催しました。



■卒業制作スケッチ旅行



洋画コース 10月2～4日 和歌山県雑賀崎



日本画コース 10月17～19日 三重県答志島

■歴史公開講座

10月26日、『鑑真和上像と唐招提寺金堂の創建を考える』をテーマに歴史公開講座が行なわれました。今年は唐招提寺を開いて戒律を説き、わが国仏教界に多くの功績を残した鑑真和上が遷化して1250年にあたります。そこで和上と解体修理の終わった金堂について考察しました。

第一部の「鑑真和上と仏像」は同志社大学教授の井上一稔氏、第二部の「唐招提寺金堂の創建」は、本学前園実知雄教授が解説しました。今年も近隣より多くの考古学ファンの方が受講され熱心に聴かれていました。



■学外研修 陶芸コース

11月25日、陶芸コースのアート研修は「港町・神戸」メリケンパークで行なわれているビエンナーレに行ってきました。コンテナで展開される個性豊かな作品、遊覧船から鑑賞する神戸港風景をバックにした作品、兵庫県立美術館での巨匠アートなど、神戸の街のアチコチにワクワクドキドキ。刺激いっぱいの日でした。



編・集・後・記

新しい年の始まりはカレンダー・手帳の一新で、気分も新たになる。ただ毎年気になるのが日曜日の位置。だいたいカレンダーは日・月・火・水・木・金・土と日曜日が左にあることが多い。だが手帳では月・火・水・木・金・土・日で日曜日の位置は右。いったい日曜日は週末? 週始め? 今年も年の始めに迷う。(Y)